

2013年9月30日

ノーモア・ミナマタ第2次国賠訴訟原告団
水俣病不知火患者会

新たな 水俣病の裁判 始めました

公式確認から57年

どうして今、裁判なのか？

どうして今まで声を上げなかったのか？

不思議に思われるかもしれません...

でも、切り捨てられ、声をあげられない水俣病被害者が
たくさん取り残されているのです。

私たちは、すべての水俣病被害者の救済を目指して、現在、熊本地裁で裁判をたたかっている、ノーモア・ミナマタ第2次国賠訴訟原告団です。本日第2陣の提訴を行い、原告は180名となりました。公式確認から57年経ちますが、今も多くの水俣病被害者が補償を受けず取りされています。チッソ、国、熊本県に対しては、すべての水俣病被害者の救済を求めて、たたかい続けます。



平成25年6月20日
熊本地方裁判所前

あたたかいご支援よろしく申し上げます。

水俣病の苦しみをわかってください

鶴崎明成です。葦北郡海浦の漁師の息子です。私にはこんな症状があります。

キーンと耳鳴りがします

キーンと甲高い音が、5歳ころからずっと鳴りやみません。

手がフルえます 「アル中」とからかわれました

小学生で手がフルえるようになり、同級生から「アル中」とからかわれました。

文字を書くときに手のフルえを押さえるために力が入りすぎて、

鉛筆の芯をツブしたり、ノートを破ったりして、

「カンナシ」（地元言葉で「加減を知らないバカ」）と言われました。

平らな廊下でつまづきます 手からモノを落とします

何もないのにつまづいたり、扉や机に手足をぶつけて、

「アホ」「バカ」「ドジ」と言われました。

よく手からモノを落します。モノを持っている感覚がないこともあります。

痛みも温度も感じません

ケガをしても気づかず、血を見てケガに気づくこともあります。

同級生から面白半分にシャーペンで手の甲を刺されました。

風呂の温度がわからず、小さい頃、のぼせて鼻血を出しました。

すべて水俣病の症状だそうです

ずっと知りませんでした。2年前、検診で医者に「水俣病」と言われ驚きました。

本当は普通の健康な生活がしたいのです。

裁判で償ってほしいのです。

みなさま、どうか応援をよろしくお願いいたします。